



『まえだとし女 全句』



まえだとし女

公園で見つかるといふ路のたう  
級友の声さりげなくふきのたう  
「消しゴムを買ふので待ってて」雪解風

路のたう丘の側溝にのぞかせて  
京都までおともをたのみ雪の下駄  
冬の婚どころか京都行といふ  
大叔母と伯母との間火鉢あり  
旅先でなぜかお針に火鉢かな  
店頭足ぶみミシン冬紅葉  
寝正月オルゴール曲止め処なく  
七草の年代ものが抽斗に  
春の町暮れてハートのハレーション  
そば打を撮り雲を撮り寒明くる  
春時雨樽酒はかり売りの文字

『まえだとし女 全句』

